
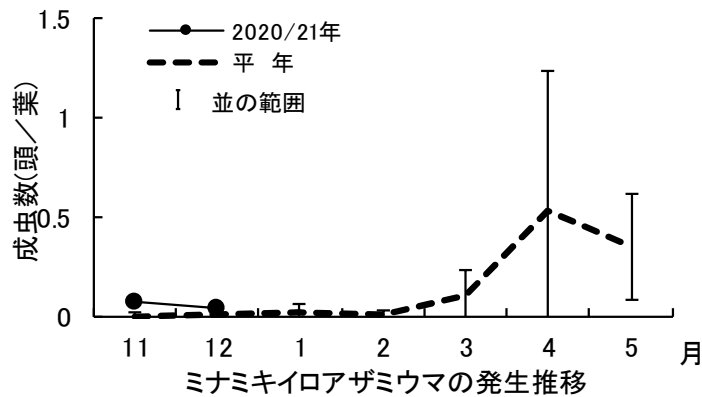


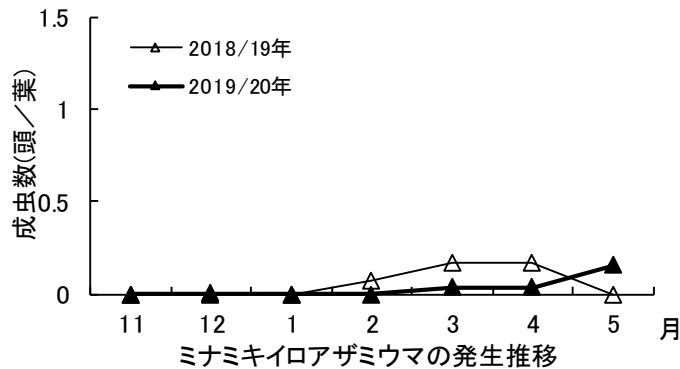
作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移




・発生ほ場率：40% (平年値：9%)

防除のポイント

- ・本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、灰白色斑紋病を媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

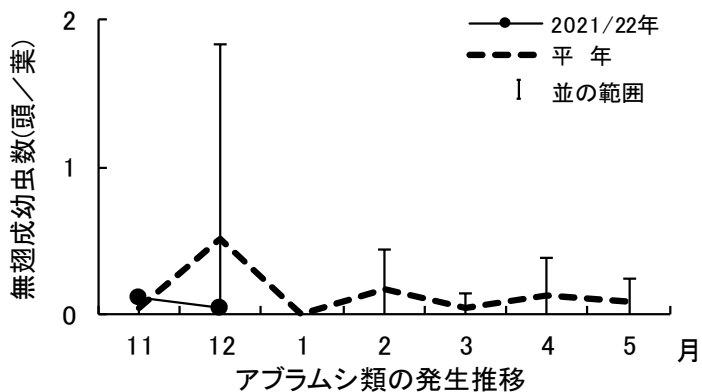


果実の被害

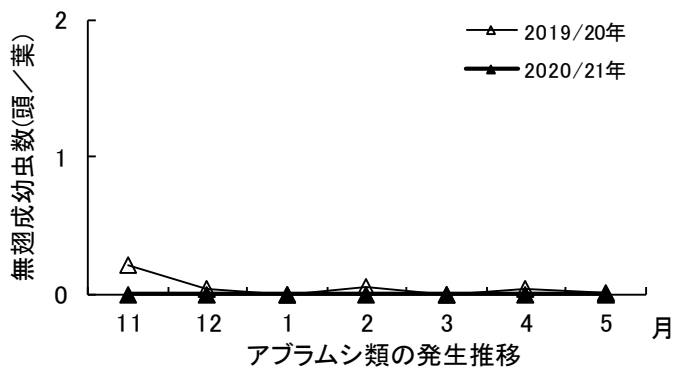
作物	ゴーヤー(施設)	地域	八重山群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	↘	
	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



・発生ほ場率：20% (平年値：9%)

防除のポイント

- ・本種はウイルス病を媒介する。
- ・施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、有翅虫の侵入を防ぐ。
- ・施設周辺の雑草は本種の発生源になるので除去する。
- ・発生初期は局所的に分布するので、被害葉を除去し、スポット散布を行う。